

## スギ花粉症の根本治療ができます

スギ花粉症はスギの花粉がとぶ1-4月にくしゃみ、鼻水、目のかゆみなどの症状がでます。これまでは、症状をおさえる抗ヒスタミン剤を花粉が飛び出す少し前から開始し、花粉が飛び終わるまで内服してもらう**対処治療**が主な方法でした。軽症のかたには、今でもこの対処療法が有効です。しかし、**症状のより重い方は、根本的な体質改善を行うアレルギー免疫療法をお勧めします**。アレルギー免疫療法は2014年から保険診療で行えるようになった治療法で、アレルギー(アレルギーの原因物質=スギ花粉)を少量から体に投与し、アレルギー反応を弱めていく治療法です。

**治療適応:**問診、診察および血液検査でスギ花粉症と診断されたかた。ただし65才以上のかたは効果が弱くなる可能性があります。ベータ遮断薬(血圧の薬)使用中、ステロイド内服中、低肺機能、重い気管支喘息、妊婦、自己免疫性疾患、癌治療中のかたは適応外となります。また、転居の予定があるなど長期に治療を継続できないかたも治療開始は困難です。

**方法:**舌下錠(シダキュア®)を少量から開始2週目以降に増量し**毎日舌下投与を継続**します。

**期待される効果:**約2割のかたで症状がほとんどなくなり、約6割のかたで症状が軽くなるといわれています。残念ながら残りの1-2割のかたは効果がありません。また、スギ以外の新たな抗原に対するアレルギー反応を抑える作用もあります。

**治療期間:**治療は6-11月の花粉がとんでいない時期に開始する必要があります。治療期間は3-5年程度で、治療効果を十分だすためには最低でも3年は継続することが望ましいとされています。通院は当初は1-2週間ごと、その後は4週間ごととなります。1-2年で効果判定し有効であれば、3-5年の治療継続をお勧めしています。3-5年継続し中止しても効果は長期間持続します。継続期間が長い方が持続期間も長くなります。もし、ぶり返した場合は、もう一度舌下免疫療法を再開すれば速やかに効果がでます。

**副反応:**約4割のかたで、口の違和感や、腫れぼったくなったりします。たいていは1時間以内に治り1ヶ月程度で、でなくなります。対処療法もできます。ごくまれに、全身に蕁麻疹がでたり、さらに理論的には、アナフィラキシーという重度のアレルギー症状がでる可能性があります(極めてまれ)。

**費用:**3割負担で初回の診察で6000円程度、その後は月に**2000-2500円程度**が目安です。例えば症状に応じて、抗ヒスタミン剤などを使用した場合は別途費用がかかります。

**ダニアレルギー:**スギ以外にもダニ抗原に対する舌下錠(ミティキュア)もあります。こちらは通年性アレルギーに対する治療薬で、スギ花粉症と同様に、ダニアレルギー(ハウスダスト)を血液検査で確認したのちに治療開始となります。